

あつま

議会だより

3月定例会号

No. 131

平成20年4月発行



イチゴ(紅ホッペ、桜丘 小林さんのハウス)

目次	掲載ページ
○平成20年度予算審議	2～3
○委員会活動レポート	
・総務文教：小学校の統合、各学校の防災施設、今後の中学校の部活動のあり方、 中高生の海外派遣	4
・産業建設：商工会館の改修、田舎まつりの企画の見直し、品目横断的経営安定 対策後の農業経営、市街地のバイパス	5
○一般質問	
・埋蔵文化財発掘調査	米田俊之 6
・特定健診・特定保健指導、ごみ処理の現状と将来	今村昭一 7
・後期高齢者医療制度、教育行政	木村幸一 8
・都市と農村の交流促進、移住・定住対策、学校教育	井上次男 9
・厚南中学校校舎の状況、防災対策、国民健康保険事務、ゴルフ場開発 に伴う災害・環境対策、水源の確保	下司義之 10
○議決案件（賛否状況）	11～12
○議会のうごき、あとがき	12

一般会計
特別会計

51億5,200万円
17億6,040万円

前年度比
前年度比

4.5%減
22.0%減

平成20年度 予算審議

平成20年度 当初予算決まる

平成20年第1回定例会で付託された平成20年度の各会計予算は、予算審査特別委員会（今村昭一委員長）を設置し、3月10日から3月13日までの4日間の日程で慎重に審議した結果、付帯意見をつけて全会一致で原案のとおり可決されました。委員会での主な質疑をお知らせします。

総務課

Q 骨格予算と聞いたが、必要な予算はある程度計上し、しかも財政調整基金の取り崩しをしないで済んだということだが、まだ余裕があるということか。

A 当初は骨格でとの構想もあり、厳選の方向で編成作業を行っていたが、継続事業や補助事業のスケジュール上の都合からほとんどの事業を計上せざるを得ない状況になった。歳入では、地方交付税に地方財政対策費が上乘せされたこともあり、財政調整基金を取り崩す必要がなくなった。

Q 石油交付金は、今後も見込めるのか。

A 時限立法的措置を毎年延長してきているので、先々については、担保されていない。

Q 公募債の活用を検討しているか。

A 住民を対象に町債を公募する制度は、道内においても取り組み事例がある。対象事業、償還方法など制度的制約はあるが、検討の価値はあると認識している。

Q 町有地の駐車場整備の目的はなにか。

A 区画整理組合から寄付を受けたときに、表通りに面した位置で駐車場の整備をという声があったためである。

まちづくり推進課

Q 今後の移住・定住対策をどのように進めていくのか。

A ハートフルタウンについては、ハウスメーカーとタイアップして、セットプランによる分譲促進を図っている。ルールビレッジについては、ログハウス販売代理店の協力によるモデルハウス建設の計画を現在進めている。また、パークタウン新町については、4区画の未分譲地を活用した長期賃貸制度の実施を検討中である。

Q 定住対策として老人ではなく、新婚世代が定



若い世代が定住できる政策が望まれている

住できるような住宅政策を、真剣に検討する必要があると思うが。

A 厳しい財政状況の中では難しい部分もあるが、提案の内容を新町長に引き継ぎたい。

町民課

Q 苦小牧市と安平町のゴミが減量した場合、今年度の厚真町の負担金は増加しないのか。

A 前年度実績に基づき算出するので、今年度は変わらない。本町は自治会活動による粗大ゴミ回収が活発に行われており、ゴミの処分量は多い。

Q コンビニ収納に係る費用対効果はどうか。

A 本年1月末現在の利用者数は、851人で約1、180万円である。経費は、初期投資で約430万円、毎月の使用料で1万円、1件当たりの手数料が60円である。

保健福祉課

Q 特定健診における受診率の目標値の設定は。

A 平成24年度の国が示す標準では、特定健診受診率が65%となっており、本町においても、5年後の24年度までに65%になるよう設定している。

Q 75歳以上の後期高齢者が服薬中などの理由により、健康診査の対象外となる場合、本町ではどのように対応するのか。

A 本人が受診会場に来られた場合、受診の必要がない旨を説明するが、本人がどうしても受診を希望する場合、その機会を奪うものではない。

Q デマンド交通システムの方向性は。

A 1月に検討委員会を設置し、講師を招いて勉強を始めた。来年3月までには一定の方向を出したいと考えている。

産業経済課

Q 畜産担い手育成総合整備事業の取り組みは、現在どのような状況か。

A 基本施設の草地整備、農機具導入は、平成20年度前倒しになる予想なので、6月の定例会で事業の補正を提案したいと考えている。

Q 市街化調整区域でも農家民宿の法手続きはクリアするのか。

A 修学旅行生の体験受入については、当面は旅館業法上の許可ではなく、農業体験の民泊として行うので、許可は不要である。

Q 田舎まつり会場が変わることで、ダム広場の予算がどのように変わるのか。

A 土地改良区と相談して年1回程度の草刈りは実施したい。施設などのこともあるので、関係課と協議していく。

交流促進センター

Q 21年度の指定管理者移行を半年ほど前倒しすることはできないか。

A 公募、選定、協議事項の詰めなどスケジュール的に厳しい。

建設課

Q 本郷団地道路整備になぜ国費を投じられないのか。

A 国費事業は2車線復員が8・5mでなければ採択されないの、石油交付金で整備する。

Q 上厚真市街10・11号は、なぜ簡易舗装なのか。本格改良できないのか。

A 改良したいが、財政事情からほり止め対策として簡易舗装をする。

Q 給水区域の拡大の余地はあるのか。

A 給水区域でない地域は、幌里の一部と高丘である。水利権の許可水量から桜丘地区くらいまで

しか給水できない状況である。

教育委員会

Q 部活動の支援についての考えは。

A 部活動に対する予算措置は無いが、中体連への参加や全道大会等への参加に対する経費の助成をしている。今後の検討課題としたい。

Q 教育長の交際費についても公表するべきではないのか。

A 今後公表する。

Q 物価上昇による給食費の値上げや中国製品のチェック体制はどうか。

A 給食費は現行のまま、創意工夫して行う。中国製の冷凍ギョーザやその他の食材は使用していない。

付帯意見の要点

- (1) 若い現役世代の人たちが町内に住居を求めることができず、町外に流出する現状があった。町内に定住ができるように考えていただきたい。
- (2) 委託費について、毎年随契という同じような形で長引いているようなものもあった。委託料の適正化に努められたい。
- (3) 商店街の駐車場を設けるためにフェンスを設置するという予算は、予定地のことも含め、有効な投資ではないと思われる。
- (4) 大沼野営場のようなところを、わずかな利用料金をもらうために大幅な管理体制をとらず、無料貸し出しをした方がいいのではないかと。

総務文教常任委員会

委員会は去る1月24日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査4件、現地調査1件より抜粋。



排煙用の窓が開いても、内側に木製の窓があり換気できない

小学校の統合

質疑概要

- Q** 小規模校のメリット、デメリットについて、教育委員会はどのように考えているか。
- A** 小さいから大きいからという点ではなく、教育の条件としては当然規模も
- Q** 富野小学校、軽舞小学校は、統合を考えていく必要があると思うが。
- A** 第3次総合計画で小学校の配置計画の検討、複式学級の解消が位置づけられており、十分慎重に進めていきたいと思っている。

各学校の防災施設

質疑概要

- Q** 中央小学校体育館の
- 排煙設備は、緊急時に有効に活用できるか。
- A** 学校の施設については、法的には排煙設備は必要がないということになっている。
- ただし、中央小学校の体育館に関しては、高いところにある窓の開閉を容易にするために、排煙装置を持った窓を換気用の窓として利用しているということなので、ご理解いただきたいと思う。
- Q** 防火扉については、

中高生の海外派遣

質疑概要

- Q** オーストラリアに9年間続けて行っているが、その理由はなにか。
- A** 英語圏であるということ、時差が少ないということに合わせて、研修の最も重要な点が、ホームステイと学校訪問であり、その条件を満たしている。

今後の中学校の部活動のあり方

質疑概要

- Q** 地域総合型スポーツクラブの設立について、どのように考えているか。
- A** 教育委員会として今のところ、設立の考えは持っていない。
- Q** 小学校の児童数の推移から、今後中学校の部活動が成り立たなくなっていくのではないかと、いう危惧があるが。
- A** 部活動は学校教育の一環として位置付けられているから、今後とも、学校と十分協議をしながら進めていきたいと思う。

- Q** 平成7年と8年に韓国に行っているが、それをやめた理由はなにか。
- A** 韓国に2年行ったが、ホームステイでまったく言葉が通じなかったために平成9年にカナダにしたが、学校が休みであること、時差がかなりあることなどが理由で、平成10年からオーストラリアに行っている。

委員会活

産業建設常任委員会

委員会は去る1月23日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告した。事務調査6件、現地調査2件より抜粋。



商工会館を現地調査

商工会館の改修

質疑概要

Q こういう建物は一般的にどのくらい耐用年数があるのか。アルミサイディングでの補修で今後の耐用年数は。
A 鉄筋コンクリートは65年とかあるが、途中での手当によって違ってくる。アルミ外壁補修によ

って、20年くらい耐用年数は延びる。
Q 町も改修には理解を示しているようだが、工事内容の精査と、補助率が今後の課題か。
A 今考えている補修内容が良いと思う。商工会員の中に建築業者もいるので、できるだけ安くなることを期待している。

田舎まっりの企画の見直し

質疑概要

Q 会場は市街地周辺でという方向であれば、そ

れに合った原案が急がれるのではないか。
A 早急に運営委員会で会場や内容、時期を含めて詰めていきたい。

品目横断的経営安定対策後の農業経営

質疑概要

Q 行政は生産基盤をつくるだけでなく、農業構造とか作付構造への支援が考えられないのか。厚真の特産品づくりも必要でないか。

A 第5次農業振興計画の中で精査していきたい。個々でやっていける人と、法人化に向けての支援など、大規模経営を目指すべきと思う。また、今の平均収量は、土づくりによって相当上げられる。

市街地のバイパス

質疑概要

Q チケツペ川をまたぐ道道が1本ということ、防災、緊急などからバイパスが必要でないか。
A 非常に金額のかかる

ことで、二の足を踏む状況である。防災上のこと、街の空洞化などを検討しなければならぬ。
Q 空洞化の問題はもう過ぎたのではないか。
A 多様な意見を聞いて対応していきたい。

町政を問う



一般質問

3月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

埋蔵文化財発掘調査

Q ニタツプナイ遺跡の隣接地で発掘する考えは

A 今後の検討課題である

埋蔵文化財発掘調査

問 埋蔵文化財発掘調査の本年予算は、1億6,900万円であり、経済的効果や文化的効果があり、将来のまちおこし事業と発展していくことも考えられる。そこで、モイ遺跡でどのような貴重なものが発掘されたのか。

教育長 厚幌ダム建設工事に伴い、5つの時代にわたる発掘調査を行った。国内で初めての形をした「石製ペンダント」や「イナキビ団子」、道内初出土の「石のやじりの加工場跡」、道内で一番古いとされる「かなはし」というかじ屋の道具など注目されるものが出土した。

問 富里地区のニタツプ

ナイ遺跡はどうか。

教育長 国営農業用水再編対策事業に伴う発掘調査である。国内では出土例がない「鉄のやじり」や国内2例目の「形を推定できる銅製の銚子」、国内でも例のない「鉄の縫い針」また、「25頭分のシカの頭がい骨だけを集めてあった場所」などが発見された。

問 ニタツプナイ遺跡の隣接地で貴重な出土が予想されるが、発掘する考えはあるか。

教育長 本年の調査結果から発掘実施区域の両側に遺跡が続いていることが推定されている。現在実施している調査が最優先であり、推測される遺跡調査については、今後の検討課題である。



米田俊之議員

問 今までに厚真のアイヌ文化について、どのようなことが明らかになったのか。

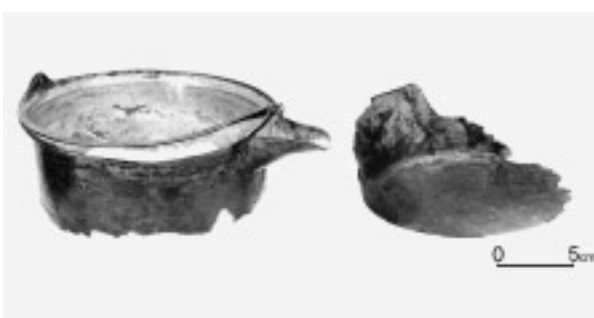
教育長 幕末に厚真を訪れた松浦武四郎の文献から、厚真は自然や地形に恵まれ畑を作り、他地域との交流も盛んであったと思われる。

富良野、日高などからの中継基地であり、全国でも例のないものが出土されたと思うが、今後の発掘調査によってさらに当時の状況が解明されていくと思う。

問 出土品が累積し、現状では保存スペースが不足するのではないか。空いている公共施設などは利用できるか。町民の関心も高まってきているが、今後の保存・展示は

どうしていくのか。
教育長 保存について、史料価値の極端に低いものは、発掘跡へ埋め戻しを行い、保存スペースを確保していく。

展示は町民ギャラリーを活用した発掘成果展の開催、学校教育活動の中で学習体験活動、社会教育事業の中で埋蔵文化財発掘体験など町民の意識を高めていきたい。



国内2例目の出土品「形を推定できる銅製の銚子」(350年前のアイヌ文化期)

特定健診・特定保健指導・ごみ処理

Q メタボリックの新規事業に当たり、事前に厚労省からの意向調査はあったか

A 意向調査はなかった。負担も多くなるが、住民の健康のためになるものとしてやっていきたい



今村昭一議員

特定健診・特定保健指導

問 メタボリック対策について、20年度からの新規事業として、厚労省から義務づけられたが、自治体「保険者」としての対応と、この事業を始めるに当たって、事前に国のほうから意向調査などがあったか。

町長 40歳から75歳未満を対象にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防、解消に重点を置いた生活習慣病予防のための新しい健診、保健指導を、各保険者の責任において行うことが義務づけられた。

そのため、国の基本指針に即した実施計画を19年度末までに策定し、5年ごとに見直しを行うもので、第1期の24年度までに特定健診・特定保健指導の受診率を向上させていく目標値を設定している。受診環境や保健指導体制の整備を進めながら、生活習慣病予防に向

けた健診と保健指導に努めていく。

厚労省から事前の意向調査などということはない。

問 従前から基本健診など、それぞれ努力してきている保険者に対し、一定の成果がなければ負担金の割り増しをするなどの脅しや罰金のようなことで、中央省庁は自らの仕事と権限の確保に熱心になっていっているのでないか。地方分権に逆行するような中央のやり方に、町村会など連携して異議の申し立てをするべきと思うが。

また、保険者の負担や従前業務への影響は。

町長 国なりの調査結果で作られた法律であり、住民の健康のためになるものとして受け止めている。

保健福祉課長 国・道・市町村がそれぞれ3分の1となっているが、実際の基準額が低く、町では630万円くらい見込

まれるが、国・道からは100万円弱しか来ないと思う。保健指導については、従前から低下しないようにやっていきたい。

Q 生ごみ発電の検討は

A 時代に取り遅れないよう検討課題と思う

ごみ処理の現状と将来

問 ごみ処理について、「埋める・燃やす」を最小限にということと、生ごみなどでの発電について、広域で検討されているか。

町長 ごみ処理の現状は、13年度から苦小牧市との

広域処理を開始し、10種類で処理している。また、町独自の繊維リサイクルは、町内4カ所に回収ボックスを設置している。今後のごみ減量対策としては、リサイクルの徹底など、広報紙などを通じて町民の意識を高めていく。

問 生ごみ発電の検討については、現在堆肥としてリサイクルしており、広域でも検討していない。

町長 小規模なそば殻発電という最近の記事がある。費用対効果など日ごろから考えてみるとか、シンクタンクの活用ということとを、担当者間の検討テーマに入れておくべきでないか。

もう一点、割り箸回収で飲食店の協力を得てはどうか。

町長 時代に乗り遅れないよう検討していく課題と思う。割り箸回収については、処理施設や収集方法などの調整があり、組合と協議していく。

一般質問

都市と農村の交流促進・移住・定住対策・学校教育

問 都市と農村の交流推進 修学旅行生の農業体験の受け入れなど、「農」とふれあうグリーン・ツーリズムの推進は、農業者への指導をしながら実施するところがあるが、修学旅行生だけでなく、団塊の世代へのアピールも含めて進めるべきではないか。どのような方法で受け入れるのか、まだ検討中の段階なのか、具体性を含め伺いたい。

町長 市民農園は、農業者自らが開設することにより、積極的に経営の中に組み入れることも可能なので、農業者の開設を推進したいと考えている。修学旅行生の農業体験の受け入れは、最近では、都市部の高校で要請が多い。当面は、以前から実施している社団法人千歳観光連盟と連携をして、一部を本町で受け入れたと考えている。

Q 都市と農村の交流推進は

A 市民農園は農業者の開設を推進したい

問 習字・そろばんの教育の特区指定を受け学力の向上を

A 今のところ特区についての考えは持っていない

い。当分は、以前から実施している社団法人千歳観光連盟と連携をして、一部を本町で受け入れたと考えている。

移住・定住対策

問 平成19年度は、DVビデオ制作により厚真町をアピールでき、以前に比べて大幅な費用対効果成果を得られたと思う。東港（周文）フェリーターミナルと苫小牧フェリーターミナル及び各船内に厚真町をアピールできるパンフレットなどを配布していくことで、より交流人口も含め移住・定住の促進につながると思うが。

町長 さまざまな手段で厚真町の魅力を広く発信していくことは、極めて大切なことである。移住ガイドを西港フェリーターミナルは、昨年の12月から、東港フェリーターミナルは、今年の2月から、また、船内については、フェリー会社4社の内2社の協力を得て、今月から置かせていただいている。



井上次男議員

問 学ば楽しさを育む教育

町長 学習指導において、基本的・基礎的な知識や技能を習得するために、「読み・書き・計算」を行い、その中から分かる喜び、学ば楽しさを身につける教育を推進していく方針とあるが、このことは小学生のうちから身につけるものであり、「習字・そろばん」を教育特区の指定を受けて、学習指導をしていくことで、厚真の子どもたちがより学習能力向上につながるかと考えるが。

教育長 新しい学習指導要領案では、読み・書き・計算にかかわる教科の授業時数も増えることとなるので、今のところ特区についての考えは持っていない。今後も基礎・基本の定着ということを踏まえながら、学習指導を行い、学力の向上に努めたい。

みんなの町政です

議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は6月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2321 (内線 452) 議会事務局までお気軽にどうぞ



厚南中学校校舎の代償（防災対策・国保事務・ゴルフ場開発に伴う災害等の対策・水源確保）

Q 厚南中学校校舎の水道凍結は設計上の問題ではないか

A 早急に徹底的に調査して原因を究明する

厚南中学校校舎の状況

問 厚南中学校については、本年1月17日に水道管が、1月30日に消火栓ポンプが破裂したということだが、状況を説明してほしい。

生涯学習課長 水道管の破裂については、1月17日に教頭が学校に出勤して玄関で水の音を確認して発見した。消火栓ポンプの破裂については、1月30日に職員室に設置してある貯水槽水位警告ランプの点灯により異常を確認した。

問 厚南中学校の暖房システムは、どのようなになっているか。

建設課参事 暖房機は温風暖房機を2台、職員室に補助暖房機としてFF

ストーブを設置している。

問 集中暖房の温度センサーが職員室にあるため、職員室の補助暖房機を使用すると全館暖房機が作動しないのではないか。

建設課参事 職員室に温度と湿度のセンサーがあり、職員室で感知していることは間違いないので、そのようなことであると思う。

生涯学習課長 生徒登校時は、職員室のストーブを使用していない。職員室が22度以上になった場合は、職員室の戸を開けるなどして温度調節をしている。

問 職員室が南にあるため、温度が十分あるとやはり暖房が入らない。やはり、学校の設計上に問題があるのではないか。



下司義之議員

建設課参事 温度センサーは手で動かすので、人の一番居る場所、いたずらのされない場所に設置しなければならぬ。設計上では問題が無いと思う。



水落としのために床下に潜る教員
(3カ所の床下に潜らなければならない、手前のはしごは天井裏のバルブを開めるためのもの)

問 厚南中学校は、平成18年1月13日にも水道凍結を起こしている。建設されて3回の冬のうち2

回水道管の破裂を起こしているが、何かおかしくないか。

教育長 平成18年にもあり、早急に徹底的に調査を行う。

防災対策

問 2月23日から24日にかけて、町内が大荒れの天気になったが、町の対応はどのようになされたか。

町長 23日午後5時に10センチを超えたので、指定業者に指示し午後10時から除雪車23台で除雪を開始した。24日、午前6時より除雪車26台が自主的に出動、夕方までに除雪を終了した。非常に早い対応であったと思う。

問 状況確認はどのようにされたか。

町長 職員によるパトロールは危険であるため行っていない。

問 災害対策本部を設置すべきではなかったか。

町長 警報の発令が無く、災害対策本部の設置基準に該当しないため、本部

を設置していない。

問 防災無線はどのように活用されたか。

町長 警報が発令されなかったため、活用はしていない。

国民健康保険事務

問 国民健康保険事務の第三者行為求償事務は適正に行われているか。

保健福祉課長 保険料回収は適正である。

ゴルフ場開発に伴う災害・環境対策

問 高丘ゴルフ場開発に伴う災害・環境対策は、今後どのようなになるか。

町長 北海道が毎年3回調査をしている。現状では災害発生の問題は無い。

水源の確保

問 家畜用水資源の確保について、有効な渇水対策は無いか。

町長 小規模土地改良事業などを活用することもできる。

3月定例議会の議決案件（賛否状況）

平成20年3月6日（木）～3月14日（金）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第1号	厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命	賛成全員 (無記名投票)
同意第2号	厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命	賛成全員 (無記名投票)
同意第3号	厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命	賛成全員 (無記名投票)
同意第4号	厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命	賛成8・反対3 (無記名投票)
同意第5号	厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命	賛成全員 (無記名投票)
承認第1号	専決処分承認(平成19年度厚真町一般会計補正予算(第7号))	賛成全員
承認第2号	専決処分承認(平成19年度厚真町一般会計補正予算(第8号))	賛成全員
議案第1号	平成20年度厚真町一般会計予算	賛成全員
議案第2号	平成20年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	賛成全員
議案第3号	平成20年度厚真町老人保健特別会計予算	賛成全員
議案第4号	平成20年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	賛成全員
議案第5号	平成20年度厚真町介護保険事業特別会計予算	賛成全員
議案第6号	平成20年度厚真町簡易水道事業特別会計予算	賛成全員
議案第7号	平成20年度厚真町公共下水道事業特別会計予算	賛成全員
議案第8号	平成19年度厚真町一般会計補正予算(第9号)	賛成全員
議案第9号	平成19年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)	賛成全員
議案第10号	平成19年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(保険事業勘定補正予算(第2号)、介護サービス事業勘定補正予算(第3号))	賛成全員
議案第11号	平成19年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	賛成全員
議案第12号	平成19年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	賛成全員
議案第13号	厚真町後期高齢者医療に関する条例の制定 (反対者1名) 木村議員	賛成多数
議案第14号	厚真町後期高齢者医療特別会計条例の制定	賛成全員
議案第15号	厚真町老人医療費の助成に関する条例の廃止	賛成全員
議案第16号	厚真町在宅介護支援センター設置条例の廃止	賛成全員
議案第17号	厚真町資産等公開条例の一部改正	賛成全員
議案第18号	厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第19号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第20号	厚真町職員に対する住宅建設資金の助成に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第21号	厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第22号	厚真町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第23号	厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正 (反対者2名) 下司議員、今村議員	賛成多数

次ページに続く

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第 24 号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	賛成全員
議案第 25 号	厚真町老人保健特別会計条例の一部改正	賛成全員
議案第 26 号	厚真町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第 27 号	厚真町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第 28 号	厚真町重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第 29 号	厚真町介護保険条例等の一部改正	賛成全員
議案第 30 号	財産の処分	賛成全員
議案第 31 号	債権の放棄	賛成全員
議案第 32 号	町道路線の認定（共和界線）	賛成全員
議案第 33 号	町道路線の認定（共和南線）	賛成全員
議案第 34 号	町道路線の認定（厚和東線）	賛成全員
議案第 35 号	厚真町土地開発公社定款の変更	賛成全員 (海沼議員・木村議員除斥)
議案第 36 号	厚真町手数料徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第 37 号	平成 19 年度厚真町一般会計補正予算（第 10 号）	賛成全員
意見書案第 1 号	「道路の中期計画」の推進に関する意見書 (反対者 2 名) 米田議員、筒井議員	賛成多数

町民のこえ を募集

厚真町議会では、議
会を傍聴した感想や
「あつま議会だより」
を読んだの感想、厚真
町議会へのご意見を募
集します。

投書について

投書される方は、用
紙に 3 百字程度までに
まとめ、自分の名前と
電話番号も書いてくだ
さい。

「あつま議会だより」
への掲載は、匿名を原
則とします。

投書されたご意見・
ご要望については、
「議会だより」にて、
その処理の結果につい
てお知らせいたします。
なお、名前等の記入
がない投書については、
取り扱わないこともあ
りますので、ご注意願
います。

※投書は、FAXでも
結構です。
FAX 0145-127-2328

議会のうごき

- 2 月
5 日・道路特定財源の確保を求める全道緊急総決起大会
(札幌市)
11~12日・町単独中央要望（東京都）
- 3 月
3 日・議会運営委員会
6~14日・平成20年第 1 回定例議会
6 日・議会運営委員会
14日・議会運営委員会
・議会広報特別委員会
- 4 月
2 日・議会広報特別委員会
8 日・議会報告会（福祉センター・厚南会館）
17日・議会広報特別委員会
22日・総務文教常任委員会
23日・産業建設常任委員会

あと
がき



今年、雪解けも早く
4 月に入り暖かい気持ち
の良い日が続いています。
小学生から社会人まで希
望に満ちあふれた、ピカ
ピカの 1 年生がたくさん
誕生しました。
7 月には新しい未来に
向けた厚真町の舵取り役
であるリーダーも誕生し

ます。
4 人の新人議員は議会
活動も一巡しました。こ
れからは町民と同じ目線
に、考え方の立ち位置を
変え、地域の宝は何かを
見つけるため、過去のし
がらみを絶ち、未来を担
う子供たちのため、新し
い厚真町に向けた創意工
夫をして行くことを大切
に行動していきます。
広報委員 木本 清登